

本日の PSS に関する一部新聞記事の内容につきまして、コメントを公表いたします。

< 掲載のシステム及び試薬の概要 >

新聞記事にありました大容量タイプの DNA 自動抽出装置は、兼ねてより PSS が開発を手掛けており、また新製品として近日販売を予定している「Magtration System 8Lx」です。本システムは、10ml という大容量のサンプルに対応しているほか、プレパック試薬方式に特徴をもつ Magtration System シリーズ製品のひとつであり、PSS は本システム専用のプレパック試薬についても同時に販売を開始する予定です。

本システムは、従来品同様、磁性粒子を担体として用いるマグトレーション・テクノロジー (PSS 特許技術) を利用しているため、これに搭載するプレパック試薬につきましても、磁性粒子を用いた試薬であることが必要となります。一方、これまで磁性粒子を用いた試薬は、高感度・高性能であるものの、一般的にコストが高く、大容量サンプル用としては実用化が難しいものとされてきました。PSS におきましても、本システムの販売にあたり、こういった試薬の課題解決に時間を要しておりました。

そういった中、この度 PSS は、既存の試薬供給先に加え、大容量に特化した開発を行い、新たな試薬メーカーとの業務提携を成立させました。本契約では、大容量 (10ml サンプル対応) 単位あたりの試薬価格を従来の 10 分の 1 に押さえることに成功いたしましたので、大容量タイプ用試薬の課題であった価格の問題を解決するに至ったものです。(従って、この試薬は従来試薬とは区分されたものであり、従来試薬の供給価格も逡減されるといったものではありません)。こうして、PSS では間もなく大容量タイプの試薬販売 (プレパック試薬) を開始する状況が整いました。

なお、この新たな提携先である Chemagen Biopolymer-Technologie AG (ドイツ) は、The Rheinisch-Westfälisch-Technische-Hochschule Aachen (アーヘン工科大学 (ドイツ)) に端を発する研究者達により設立されたものであり、その独創的かつ安価な試薬開発に特徴をもつベンチャー企業です。

< 今後の販売計画について >

「Magtration System 8Lx」のターゲット市場は、既存の提携先 (OEM 先) が得意とする一般ユーザー及び臨床応用システム群とは異なり、これから大きな需要が見込まれる大容量サンプル処理のニーズが高い分野です。PSS が本システムのニーズが高い分野として考えているものの一例は下記のとおりです。

- 10ml 全血を対象として行う、網羅的 SNP 解析における DNA 抽出
- タンパク発現プロファイルに必要な tRNA 抽出
- 土、砂、衣服、食料、湖・河川水、動・植物の環境に存在するバクテリア、ウィルスの濃縮・捕獲、その DNA/RNA の抽出

また、具体的な PSS の販売ターゲットの一例としては下記が挙げられます。

- 大手研究・検査機関 (SNPs/ プロテオーム発現)
- 飲料水・食品メーカー
- 動・植物の飼育・栽培機関・企業

- 米軍など軍隊関連
- 環境モニター機関

今後、PSS は、販売目標として、システムについては年間 50 台程度、試薬・消耗品は年間 2-2.5 億円を目指し、戦略製品として本システムの販売に注力して参る計画であります。

以上

< 本件に関するお問い合わせ >

経営企画部 広報・IR 室 福井

電話 : 047 - 303 - 4801

Eメール: ir@pss.co.jp